

トップニュース



昨年8月の大規模火災により甚大な被害を受けた米国ハワイ州マウイ島のラハイナで8月10日、火災で焼失した本願寺派のラハイナ本願寺、ラハイナ真言宗法光寺、ラハイナ浄土院の3カ寺が、宗派の垣根を越えて合同の「ボンダンス」を開催した。火災により住み慣れた地を離れざるを得ず、1年が経過した今も避難生活を強いられている住民も多く、「離散した地域の人々が再び集まる場を」と企画。マウイ山火事から1年

マウイ山火事から1年



ラハイナで超宗派の3カ寺合同ボンダンス

「離散した人々が再び集まる場を」

ウイ郡が全面支援し、地元3寺院の僧侶がやぐらに上って挨拶した後(写真右中央)、ボンダンスが始まり、「炭坑節」「ラハイナオンド」などの曲にあわせ、多くの人たちが踊りを楽しんだ(同上)。

（写真は廣中さん提供）

会場に設けられたラハイナ本願寺のブースにも多くの人が訪れた



彼岸花（御影堂前）

逢坂憲吾の
四季折々に
境内を歩いて

ご本山「大銀杏（逆さ銀杏）」の足元に咲く彼岸花。別名の曼珠沙華は、古代インドのサンスクリット語「マンジュシャカ」の音を、漢字に当てたものが語源だそうで、仏教にも関わり深い花です。真っ赤に咲くものが多いのですが、写真の通り白色もあります。白花は繁殖力が弱く数も多くないそうで、どちらも鑑賞できるご本山は、珍しい場所なのかもしれません。

彼岸花も撮影タイミングの難しい花です。咲いている時期は1週間と比較的長いのですが、開花から1～2日で彩度が落ち、花弁に勢いがなくなるので、良い状態で写真に収めるためには足繁く通う必要があります。暑さの残る初秋にご本山へ日参しては花の様子を確認し、タイミングを見計らって撮影しておりました(笑)。

お彼岸のご参拝の際にはぜひ大銀杏の足元にもご注目ください。

撮影データ
GFX50S
GF 45-100mmF4 R LM OIS WR
f5.6 S.S1/160 ISO200

全ての戦争犠牲者を追悼
9月18日 千鳥ヶ淵戦没者墓苑で法要

国籍、思想、信条などを超えて、世界中の全ての戦争犠牲者を追悼し、悲愴な戦争を再び繰り返してはならないという平和への決意を確認するため、宗派は東京都千鳥ヶ淵の国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で9月18日、第44回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要を営む。

宗派は、法要参拝を広く呼びかけるほか、オンライン参拝もできるように、公式YouTubeチャンネル「浄土真宗本願寺派西本願寺」でライブ配信を行う(下記1の二次コード)。



平和の鐘全国で

宗門が一体となって平和への思いを新たにすため、宗派は「平和の鐘」(13時30分～35分)にあわせて、全国の寺院に鐘(梵鐘や喚鐘など)を撞くことを呼びかけている。

本願寺新報

hongwanji journal

9月10日(火曜日)

毎月1日・10日・20日発行

発行所 本願寺新報社

京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派(西本願寺)
〒600-8501 本願寺出版社内
電話 075(371)4171(代) / FAX075(341)7753

御本山御用達
御開明社々員
京法衣事業協同組合加盟

satsumaya
KYOTO

株式会社 さつま屋法水店
〒600-8334 京都市下京区堀川通花屋町下ル
TEL 075-351-1548(代) FAX 075-351-1008
☎0120-310-063
https://satsumaya.kyoto

新しい「領解文」
(浄土真宗のみ教え)

南無阿彌陀仏
「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声
私の煩悩と仏のさとりは 本来一つゆえ
「そのまま救う」が 弥陀のよび声
ありがとう といったいて
この愚身をまかす このままで
救い取られる 自然の浄土
仏恩報謝の お念仏

これもひとえに
宗祖親鸞聖人と
法燈を伝承された 歴代宗主の
尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり
少しづつ 執われの心を 離れます
生かされていることに 感謝して
むさぼり いかにに 流されず
穏やかな顔と 優しい言葉
喜びも 悲しみも 分かち合い
日々に 精一杯 つとめます

赤光
白光

スーパーマーケットから米が消え、令和の米騒動と呼ばれている。定期的に入荷し店頭に出しているようだが、仕事帰りにには…。幸いなことに新米の生育は順調で、出荷される9月中には解消していくという。新米がいつになく待ち遠しい。

▼米にまつわることに「実るほど頭を垂れる稲穂かな」がある。謙虚な姿勢の大切さを示す言葉だが、このことわざを聞くと、10年ほど前に太谷本願で聞いた法話が思い出される。その先生は「私たちは毎朝お仏壇の前に座り、阿弥陀さまに合掌・礼拝するが、頭を下げるのはいけぬ。下げた頭はすぐ上がる。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」と、自然と頭が下がるようにならないといけぬ」と語っておられた。

▼自己中心の欲望に沈み、他者を傷つけ、自らをも傷つけ、悩みを深めていく私。阿弥陀さまは、そんな私を放っておけないと、私を救うことを第一に誓いを建て、はかりしれない昔からはたらき続けてくださっている。「我にまかせよ。必ず救う」と、「南無阿弥陀仏」のお念仏のすがたとなって現れ出て、私を育て、導いてくださっているのである。その大きなお心を素直に受け容れる時、自然と頭が下がっていくのだ、と聞かせていただいた。

▼上ばかり向いて、下がることの少ない私の頭。でも、だからこそ、阿弥陀さまは常にはたらい続けてくださっているのだと、新米とともにそのご恩をあらためて味わいたいと思う。

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要記念

西本願寺がお届けする

みんなで
一緒にうたって
元気になる歌

愛唱歌CD

みんな
花になれ

【収録内容】
・みんな花になれ ・つなぐ命 ・おくりもの
…歌唱/カラオケ 全6曲収録

歌唱 加藤 登紀子 制作 浄土真宗本願寺派・龍谷山 本願寺
発行 本願寺出版社
楽譜集 A4判/28頁 1,100円(税別)も取り扱っております。

本願寺出版社 ☎0120-464-583 ☎075-341-7753
〒600-8501京都市下京区堀川通花屋町下ル(西本願寺) https://hongwanji-shuppan.com/

発送梱包手数料別
(税込3,000円以上は無料)



旬の味覚にひとひらそえて。

京ゆば

湯葉弥

京・五条御前東 電話〇七五—三—一四—五七八ハ
http://www.yubaya.co.jp

修理などについても
お問い合わせ下さい

創業元禄初年

大笹屋

京都市左京区聖護院蓮華蔵町3 6

TEL 075-751-6889

FAX 075-751-7304

E-mail:m@ozasaya.com

雅楽用打ち物・経切太鼓
その他宗教用太鼓一式製造元

施設管理は、
オリックスファシリティーズ株式会社

本店 〒600-8338
京都府京都市下京区大宮通仏光寺下る五坊大宮町9 9
TEL 075-8411-7650(代表)
FAX 075-8411-7666



〒600-8349
京都市下京区堀川通西本願寺前
電話075-3371-0162

伽羅・沈香・線香 匂い袋
香老舗 創業文禄三年(1594年)
薫玉堂